

交付運用報告書

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは主としてブラジルの債券に実質的に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。当期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

引き続き、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

UBS
ブラジル・リアル債券投信
(毎月分配型)

追加型投信／海外／債券

第177期 (決算日2023年 6月20日)

第178期 (決算日2023年 7月20日)

第179期 (決算日2023年 8月21日)

第180期 (決算日2023年 9月20日)

第181期 (決算日2023年10月20日)

第182期 (決算日2023年11月20日)

作成対象期間 (2023年5月23日～2023年11月20日)

第182期末 (2023年11月20日)

基準価額	5,844円
純資産総額	9,558百万円
第177期～第182期 (2023年5月23日～2023年11月20日)	
騰落率*	16.7%
分配金合計	30円

*騰落率は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー
<お問い合わせ先> 投信営業部 03-5293-3700
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く)

<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書(全体版)は以下の方法でご覧いただけます。

<閲覧方法>

上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名(日経新聞掲載名でも可)を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書(全体版)」のタブをクリック

なお、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

©UBS2024。キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

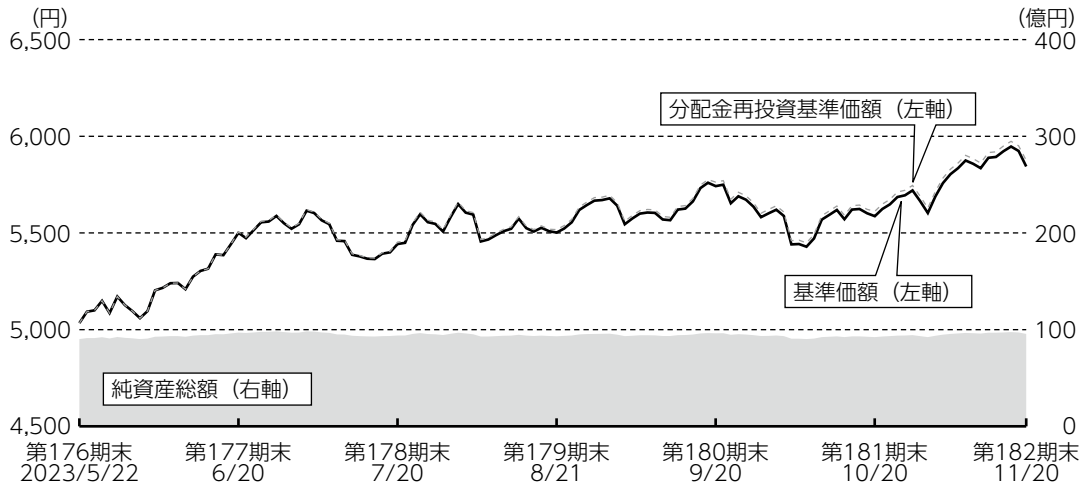
UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

運用経過

基準価額等の推移について

(2023年5月22日～2023年11月20日)



第177期首：5,034円

第182期末：5,844円（既払分配金 30円）

騰落率：16.7%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

当作成期の基準価額は既払分配金30円（税引前）込みで840円値上がりしました。なお、基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+16.7%となりました。

基準価額の変動要因

当ファンドの基準価額の上昇要因は、組入れているマザーファンドの基準価額が値上がりしたことです。マザーファンドにおいては、組入債券の価格上昇と利子収入に加え、為替市場におけるレアル高・円安の進行が基準価額の上昇に寄与しました。

1万口当たりの費用明細

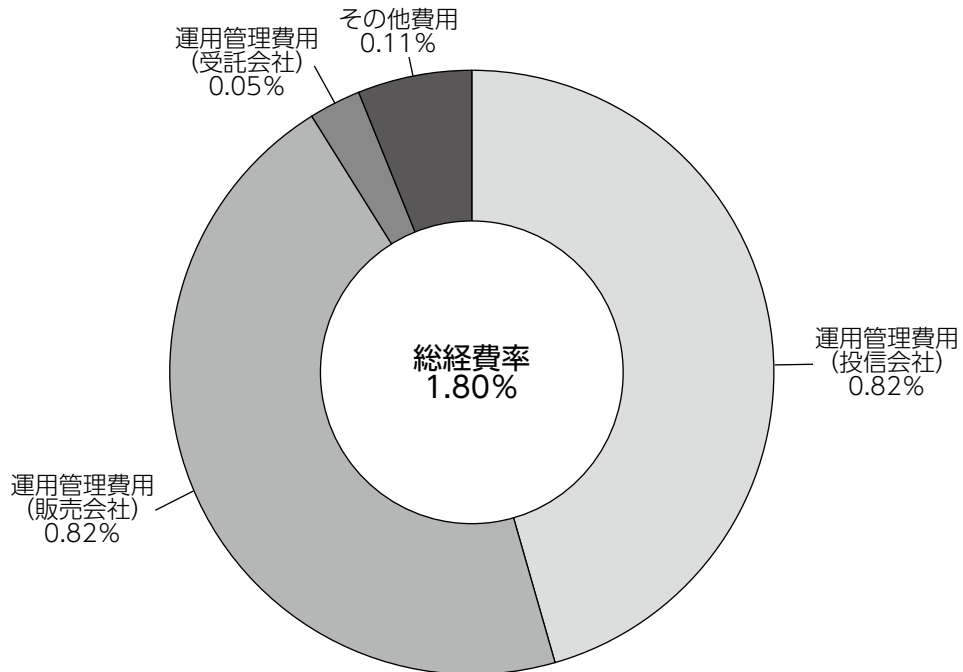
項目	第177期～第182期 2023/5/23～2023/11/20		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	47円	0.848%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は5,511円です。
（投信会社）	(23)	(0.410)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(23)	(0.410)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.027)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	3	0.056	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.044)	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	(0)	(0.006)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(0)	(0.006)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.001)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	50	0.904	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報） 総経費率



(注1) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注2) 各比率は、年率換算した値です。

(注3) 上記の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.80%です。

最近5年間の基準価額等の推移について

（2018年11月20日～2023年11月20日）



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2018年11月20日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

	2018年11月20日 期初	2019年11月20日 決算日	2020年11月20日 決算日	2021年11月22日 決算日	2022年11月21日 決算日	2023年11月20日 決算日
基準価額 (円)	5,150	4,440	3,225	3,285	4,478	5,844
期間分配金合計（税込み） (円)	—	405	240	60	60	60
分配金再投資基準価額騰落率（%）	—	△ 6.2	△ 22.4	3.7	38.3	32.1
純資産総額 (百万円)	33,256	21,666	10,921	8,383	8,713	9,558

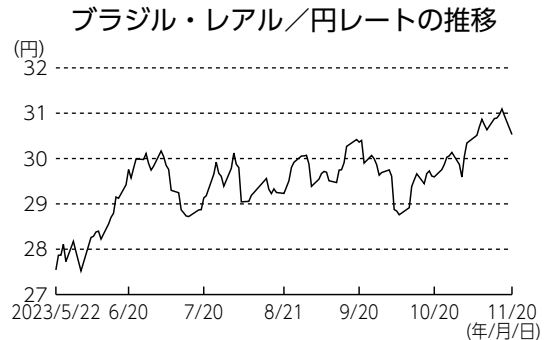
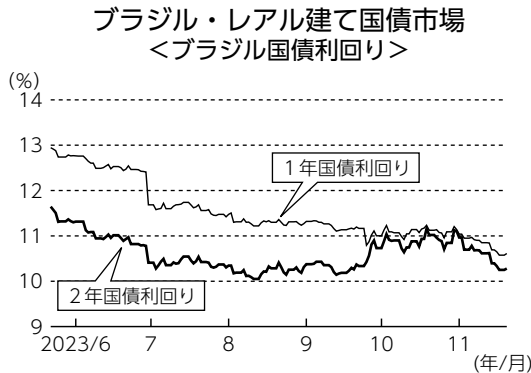
(注) 「分配金再投資基準価額騰落率」および「期間分配金合計（税込み）」は、表中の直前の決算日または期初からの騰落率および分配金合計（税込み）です。

※当ファンドの投資対象市場の値動きを示す適切な指数がないため、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

投資環境について

ブラジル・リアル建て国債利回り（以下「国債利回り」）は低下（債券価格は上昇）しました。作成期の序盤、インフレ鈍化を背景にブラジル中央銀行（BCB）が市場予想よりも早期に利下げに踏み切るとの見方や、財政均衡を目指す政府の取り組みなどを好感して、国債利回りは低下基調をたどりました。作成期中盤に入ると、BCBによる8月以降の連続利下げがプラス材料となったものの、金融引き締め長期化観測を背景に米国金利が大きく上昇する中で、国債利回りは長期債を中心に上昇基調となりました。しかし作成期の終盤、米国金利の上昇一服に連れて、国債利回りは再び低下基調に転じました。

ブラジル・リアルは対円で大幅に上昇しました。ブラジルの財政悪化懸念が緩和したことに加え、日米金利差の拡大観測から米ドル高・円安の流れが加速した影響もあり、ブラジル・リアル高が進みました。



出所：リフィニティブのデータをもとに当社作成

ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてブラジル・リアル建債券に実質的に投資を行いました。なお、マザーファンド受益証券への投資比率は、作成期を通じて高位を維持しました。

マザーファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等の発行するブラジル・リアル建債券に投資し、ブラジル債券市場の動向に概ね連動させるように運用を行いました。

債券種別構成においては、国庫金融債の比率を引き下げた一方で、インフレ連動債の比率を引き上げました。ポートフォリオ戦略では、デュレーション^{*}については作成期末現在において、作成期初比で概ね同水準としました。

^{*}デュレーションとは、金利がある一定の割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示した感応度です。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの投資対象市場の値動きを示す適切な指数がないため、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

分配金について

当作成期の分配金は、配当等収益の水準等を勘案し、第177期から第182期まで1万口当たり5円（税引前）といたしました。分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

（1万口当たり・税引前）

項目	第177期	第178期	第179期	第180期	第181期	第182期
	2023年5月23日～ 2023年6月20日	2023年6月21日～ 2023年7月20日	2023年7月21日～ 2023年8月21日	2023年8月22日～ 2023年9月20日	2023年 9月21日～ 2023年10月20日	2023年10月21日～ 2023年11月20日
当期分配金	5円	5円	5円	5円	5円	5円
（対基準価額比率）	(0.091%)	(0.092%)	(0.091%)	(0.087%)	(0.089%)	(0.085%)
当期の収益	5円	5円	5円	5円	-円	5円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	5円	-円
翌期繰越分配対象額	567円	618円	652円	699円	694円	997円

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

投資環境の見通し

インフレ動向については、11月中に発表されたインフレ指標は、一部を除き全般に伸びが鈍化しました。コアインフレ率（価格変動の大きいエネルギー・食品などを除いたインフレ率）も減速傾向にあり、インフレ沈静化に向けたプロセスは進展していると思われます。財政政策に関しては、2024年に基礎的財政収支（プライマリー・バランス）の均衡を目指す当初の予算案の修正を示唆する動きがみられ、財政政策への信認が問われる局面もありました。その後、政府は修正を断念して財政均衡目標を維持するとしたものの、今後の動向には引き続き注意が必要と考えます。金融政策については、インフレ鈍化が続き、財政悪化への懸念が緩和する中、BCBは今後も追加利下げを継続していくと見込まれます。

当ファンドの今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持します。

マザーファンドの今後の運用方針

主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等の発行するブラジル・リアル建債券に投資し、ブラジル債券市場の動向に概ね連動させるように運用を行います。

お知らせ

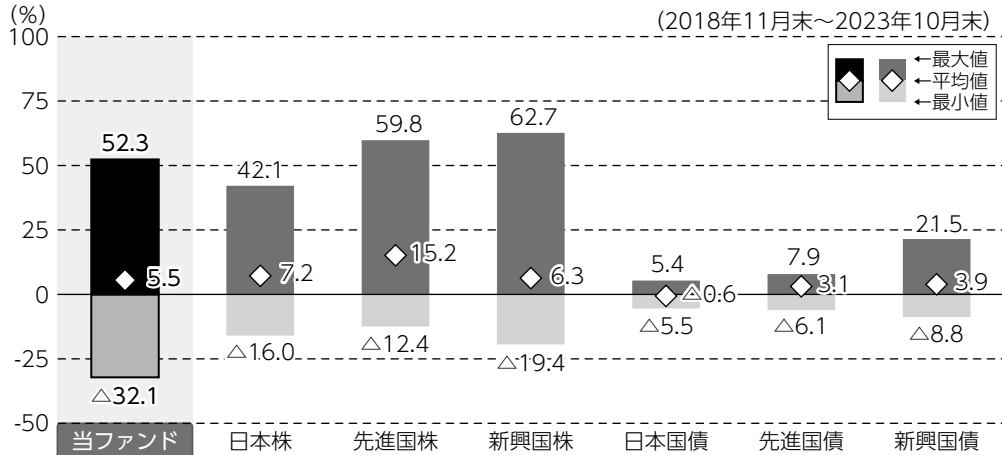
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	信託設定日（2008年7月17日）から2028年11月20日まで	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主としてブラジルの債券に実質的に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド ＜UBSブラジル・リアル債券投信（毎月分配型）＞	UBSブラジル・リアル債券マザーファンドを主要投資対象とします。
	マザーファンド ＜UBSブラジル・リアル債券マザーファンド＞	ブラジルの政府、政府機関もしくは企業等の発行する現地通貨建債券を主要投資対象とします。
運用方法	ベビーファンド ＜UBSブラジル・リアル債券投信（毎月分配型）＞	投資成果を、ブラジル債券市場の動向に概ね連動させるように運用を行います。 実質外貨建資産については、原則として円に対する為替ヘッジを行いません。
	マザーファンド ＜UBSブラジル・リアル債券マザーファンド＞	投資成果を、ブラジル債券市場の動向に概ね連動させるように運用を行います。 外貨建資産については、原則として円に対する為替ヘッジを行いません。 UBSアセット・マネジメント（アメリカス）インクに、運用の指図に関する権限を委託します。
分配方針	毎決算時（毎月20日、休業日の場合は翌営業日）に、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の中から、委託者が継続した分配を行うための分配金原資の水準、運用実績および市況動向等を勘案して収益分配金額を決定するものとします。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。分配にあてなかった利益の運用については特に制限を設けず、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

※資金動向、信託財産の規模および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- * 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- * 2018年11月から2023年10月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- * 騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。
- * 騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	東証株価指数 (TOPIX) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)	FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円換算ベース)	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

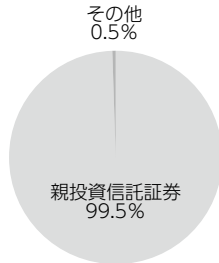
(2023年11月20日現在)

組入上位ファンド（銘柄数：1銘柄）

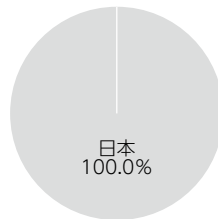
銘柄	比率 (%)
UBSブラジル・レアル債券マザーファンド	99.5

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

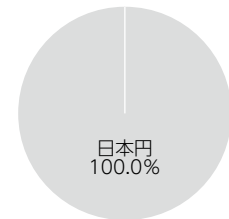
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



(注1) 「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。

純資産等

項目	第177期末 2023年6月20日	第178期末 2023年7月20日	第179期末 2023年8月21日	第180期末 2023年9月20日	第181期末 2023年10月20日	第182期末 2023年11月20日
純資産総額	9,700,908,321円	9,392,415,350円	9,321,064,350円	9,616,175,606円	9,224,561,571円	9,558,854,303円
受益権総口数	17,635,569,987口	17,257,060,351口	16,941,369,770口	16,747,170,095口	16,511,779,194口	16,356,277,217口
1万口当たり基準価額	5,501円	5,443円	5,502円	5,742円	5,587円	5,844円

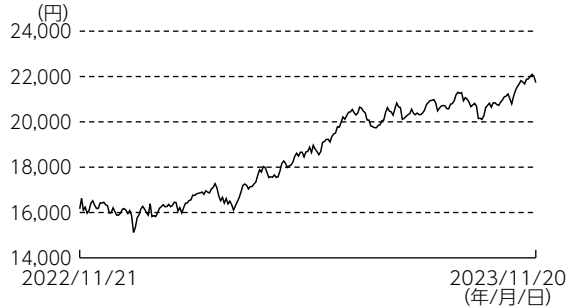
(注) 当作成期間（第177期～第182期）中における追加設定元本額は22,428,527円、同解約元本額は1,604,094,772円です。

組入上位ファンドの概要

(2023年11月20日現在)

◆UBS ブラジル・リアル債券マザーファンド

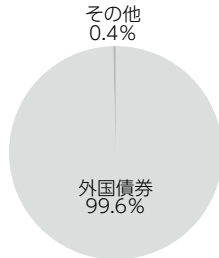
基準価額の推移 (2022年11月21日～2023年11月20日)



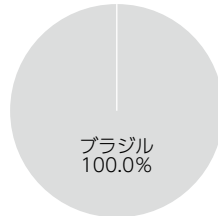
組入上位10銘柄 (銘柄数：22銘柄)

銘柄名	種別	国/地域	比率(%)
BRAZIL-LFT /FRN 2024/3/1	国債	ブラジル	11.3
BRAZIL NTN-F 10% 2027/1/1	国債	ブラジル	10.7
BRAZIL-LFT /FRN 2027/9/1	国債	ブラジル	7.2
BRAZIL NTN-F 10% 2029/1/1	国債	ブラジル	6.7
BRAZIL-LFT /FRN 2026/3/1	国債	ブラジル	6.3
BRAZIL-LFT /FRN 2028/9/1	国債	ブラジル	5.9
BRAZIL NTN-F 10% 2025/1/1	国債	ブラジル	5.6
BRAZIL NTN-B 6% 2026/8/15	国債	ブラジル	5.3
BRAZIL-LFT /FRN 2024/9/1	国債	ブラジル	4.7
BRAZIL NTN-B 6% 2025/5/15	国債	ブラジル	4.3

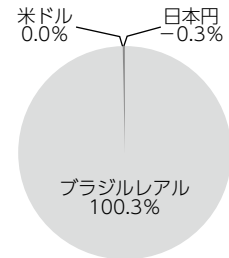
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



- (注1) 「基準価額の推移」はマザーファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」はマザーファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率はマザーファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書(全体版)」をご覧ください。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2022/11/22～2023/11/20	
	金額	比率
その他費用 (保管費用)	15円	0.079%
(その他)	(0)	(0.000)
合計	15	0.079

※期中の平均基準価額は18,540円です。

- (注1) 「1万口当たりの費用明細」は、マザーファンドの直近の計算期間のものです。費用項目の概要については、2ページ「1万口当たりの費用明細」の項目の概要をご参照ください。
- (注2) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

※当マザーファンドの運用経過につきましては、「運用報告書(全体版)」をご覧ください。